

2025年 第40回

日本管打楽器コンクール

特別大賞演奏会及び表彰式

各部門最高位入賞者による栄誉ある演奏会

2025年 9月3日(水) 開演 14:00
(開場 13:15)

東京藝術大学奏楽堂 [大学構内]

東京都台東区上野公園12-8

入場料 前売券 2,000円 当日券 2,500円

チケット販売

チケットぴあ <https://t.pia.jp/>



プログラム

特別大賞演奏会

(14:00~)

1. サクソフォーン部門

Henri Tomasi

Concerto pour saxophone alto et orchestre

2. ホルン部門

Richard Strauss

Konzert für Horn und Orchester Nr.2 Es-Dur

3. パーカッション部門

André Jolivet

Concerto pour Percussion & Orchestre

4. ユーフォニアム部門

Karl Jenkins

Euphonium Concerto

表彰式

(17:00~)

1. 運営委員長挨拶

2. 運営役員・審査委員紹介

3. 入賞者表彰・賞状及び副賞授与
文部科学大臣賞及び東京都知事賞授与

4. 聴衆賞発表・授与
聴衆の投票により特に感銘を受けた奏者に贈ります

5. 特別大賞発表・授与
内閣総理大臣賞授与

出演 2025年第40回日本管打楽器コンクール

各部門最高位入賞者

指揮・共演 山下一史／藝大フィルハーモニア管弦楽団

※演奏中(楽章間)での客席への出入り、未就学児童のご入場はご遠慮下さい。

主催・お問い合わせ

公益財団法人日本音楽教育文化振興会 日本管打楽器コンクール事務局
113-0033 東京都文京区本郷4-15-9 TEL: 03-3814-2977 FAX: 03-3814-3302
<https://jwpc.jmecps.or.jp/> E-mail: jmecps@jmecps.or.jp



日本管打楽器コンクールは、管打楽器分野から、国際的視野に立ち有能なソリストを発掘し、優秀な人材の育成及びこのジャンルの啓発を目的としております。1984年から開催され、12の管打楽器部門（フルート・オーボエ・クラリネット・ファゴット・サクソフォーン・トランペット・ホルン・トロンボーン・ユーフォニアム・チューバ・パーカッション・マリimba）を毎年4部門ずつ開催しており、国際的にも希有な存在として世界各国から注目され、そのめざましい活動は驚嘆されております。これまでの参加者は23,012名、入賞者は728名に達し、その実績は海外及び日本のプロオーケストラ団員を約400名輩出、日本のプロ



吹奏楽団員を約50名輩出、日本の音楽大学教育界では、教授及び講師を約230名輩出、その多くは管打楽器分野の育成にも及んでおります。実績・成果を挙げているコンクールとしての評価を賜り、各開催部門第1位入賞者には「文部科学大臣賞」、「東京都知事賞」をそれぞれ授与しており、また特別大賞演奏会では、最も素晴らしい演奏者に選ばれる特別大賞授賞者には、「内閣総理大臣賞」を授与しております。

2025年第40回日本管打楽器コンクール 運営役員

運営委員長

尾高 忠明 （NHK交響楽団正指揮者）

運営副委員長・運営実行統括

石渡 悠史 （一般社団法人日本サクソフォーン協会顧問）

運営副委員長

桑原 浩 （公益社団法人日本オーケストラ連盟参与）

運営参与

吉井 實行 （公益社団法人日本演奏連盟常任理事）

運営実行委員長

井上 順平 （日本トロンボーン協会顧問）

運営実行副委員長

高久 進 （一般社団法人日本フルート協会常任理事）

特別大賞演奏会 審査委員

須川 展也 （サクソフォーン部門審査委員長）

山岸 博 （ホルン部門審査委員長）

露木 薫 （ユーフォニアム部門審査委員長）

吉原 すみれ （パーカッション部門審査委員長）

池辺 晋一郎 （作曲家）

岩野 裕一 （音楽評論家）

梅田 俊明 （指揮者）

迫 昭嘉 （ピアニスト）

三浦 章宏 （ヴァイオリニスト）

指揮 山下一史

桐朋学園大学を卒業後、ベルリン芸術大学に留学、ニコライ・マルコ国際指揮者コンクール優勝。カラヤンが亡くなるまで彼のアシスタントを務める。その後ヘルシンボリ響首席客演指揮者を務めた。日本国内ではN響を指揮してデビュー、以後主要オーケストラに定期的に出演。これまでにアンサンブル金沢プリンスパル・ゲスト・コンダクター、九響常任指揮者、大阪音大ザ・カレッジ・オペラハウス管常任指揮者ならびに名誉指揮者、仙台フィル指揮者ならびに正指揮者を歴任。オペラ、オーケストラの両面においてますます注目を浴びている。千葉交響楽団音楽監督、愛知室内オーケストラ音楽監督、大阪交響楽団常任指揮者、東京藝術大学音楽学部指揮科教授。



共演 藝大フィルハーモニア管弦楽団

東京藝術大学に所属するプロ・オーケストラで、定期演奏会に加え「合唱定期」「オペラ定期」「モーニング・コンサート」などを行うほか、指揮科学生との演奏会・試験・演習、東京藝大ジュニア・アカデミーの生徒との共演など、学生の演奏経験の拡充にも資している。学外でも、近年では新国立劇場、彩の国さいたま芸術劇場、長崎県、新潟県、秋田県などでの公演で好評を博した。海外では、2017年6月のチリでの4公演（日本・チリ修好120周年記念）に続き、2023年12月、アルゼンチンのコロン劇場（Teatro Colón）での公演で聴衆を魅了した。2024年12月、ヴァイオリンの巨匠ジェラルド・プーレ氏と共にCD録音を実施した。（公社）日本オーケストラ連盟準会員。

